

やなぎ美智子からのお便り

メールアドレス：kangoshi03@outlook.jp

やなぎ携帯：090-1508-7120



7月15日、中山地域では喫茶店で「つどい」が開催されました。当日は、日本共産党102周年の創立記念日。終了後に有志で、ケーキとコーヒーでお祝いしました。
(写真左)



報告する浅野ふみ子県議

2カ所の地域後援会で6月議会報告会 & 何でも話し合おう集いが開かれました

熊谷知事は、県医師連盟から1千万円の献金を受け取ったことに対する質問には答弁をしませんでした。特別支援学校の教室不足は深刻です。県は整備のための予算を渋っています。教育に予算をかけない千葉県の姿勢は重大です。

ジェンダー問題が県内でもクローズアップされています。千葉県内で同性パートナーシップ制度があるのは12市だけです。県営住宅に入居申請できるのはパートナーシップ制度のある市の証明が必要です。千葉県の「多様性尊重条例」の実効性が問われます。(浅野県議の報告概要)

参加者の皆さんから寄せられた声を紹介します

☆「若宮小学校前の横断歩道に溝ができていて危険だ」とやなぎ市議に連絡したら、その日のうちに直してもらい助かりました。共産党の無料法律相談に行つて悩みが解決して助かりました。

☆赤旗日曜版が好きで、隅から隅まで読んでも、すぐに読み切ってしまうので、今度は日刊紙も購読します。

☆大野中央病院への通院が不便です。バス停が遠いので自転車で行ければと思います。そのために、バス停に自転車を留めるところがあると助かります。

☆4年ごとに教科書が変わります。今年は、市役所一階で教科書展示が行われ、約250人が見にきました。神話や戦争賛美の教科書が、これまで3年間、採択されなかったのに、今年は採択されました。すでに「従軍慰安婦」という記述が教科書からなくなっています。加害の歴史が消されてきています。8月1日の教科書の採択会議は傍聴できます。注目していきましょう。

☆バスが減便され不便です。



7月14日、鬼高地域で「議会報告&何でも話し合おう」が開催されました。災害時の避難所問題、補聴器が高額なので補助金を増やしてほしい、マイナンバーやマイナ保険証はどうなる・・・など市政、県政に反映させる課題がたくさん話し合われました。



無料法律相談 8月13日(火) 9月10日(火)

午後2時～5時 相談時間は一人30分

市役所第一庁舎6階 日本共産党控室 相談を希望される方は事前予約が必要です。市役所共産党控室か、やなぎ美智子にご連絡ください。

電話：047-334-1111 (内線 18220)

憲法が生きる地方自治の発展へ向けた学びと交流

第66回自治体学校「公共性再生を」7月20日～21日 横浜市で開催



横須賀火力発電所 株式会社「JERA」Hjより

岸田政権が社会保障の切り捨てや国の指示権拡大など、地方自治や住民のくらしの破壊をすすめるなか、「今こそ自治と公共性の再生が必要だ」と全国から自治体議員、職員、研究者などオンラインを含めたべ1300人以上が学びと交流に参加しました。

基調講演では、中山徹奈良女子大学名誉教授が「自治体が市民の生活や地域の平和を考えて、国がすすめる戦争でできる国づくりに反対していくべきだ。自治体は国の下請けではない。もう一度自治をきちんと確立し、国の悪政から市民を守る立場に立ち返ることが自治体の最も重要な役割だ」と主張しました。

記念講演では、フォトジャーナリストの安田菜津紀氏が紛争地や被災地で撮影した写真を紹介し「現在進行形で命が奪われているのがガザ地区だ。私たちにはまだできることがあるはずだ。停戦決議を出す自治体や地方議会もある。国際社会の一員である日本政府にプレッシャーをかけるのは市民の役割だ」と呼びかけました。

リレートークでは、公共を取り戻す運動、能登半島地震の被災地の実態、横須賀火力発電所の建設反対運動などが報告されました。

横須賀石炭火力発電所建設中止と再エネ100%の持続可能な社会をめざして取りくむ活動が報告されました。

多彩な学習会、街頭や駅頭宣伝署名活動、工場前アクション、映画「グレタひとりぼっちの挑戦」上映会、横須賀気候マーチなどは、地域ぐるみの運動に発展し、海外メディアの取材もありました。

昨年、発電所の1号機と2号機が稼働しましたが、あきらめないで稼働中止を求めて運動を継続しています。若い世代に運動が広がり、地域住民が一体になって、ユニークな活動が展開されていることに敬服です。

横浜市立大学金沢八景キャンパス「分科会4」と表示された教室入口で



私は分科会「自治体DXにおける個人情報の適正な取り扱いにむけて」に参加しました。

名古屋大学の行政学専門の稲葉教授が「事務の公務性と個人情報の保護のために、条例・契約・規約などから問題や課題を見出すことが重要だ」と助言しました。

岡山県備前市では「119番通報を受けた指令員が通報者に傷病者のマイナ保険証の準備を依頼する実証事業」をしております。私は「119番する時、マイナ保険証が必要とはいかかなものか」と唖然としました。市川市のDXも注視していかなければなりません。

自由な時間・経済再生に共感 創立102周年 市田副委員長迎え講演会が開催されました

7月20日、市川市文化会館で、党創立102周年と、市川浦安地区委員会事務所移転を記念した講演会「市田さんに聞いてみよう」が開催され、参加者で会場がいつぱいになりました。

参加者からの感想文の一部を紹介します。

☆中小企業時給1500円に関する課題の取りくみを知ることができた。

☆政党助成金の問題点についての話は分かりやすかった。



市議団4人の正調よさこい鳴子踊り